

平成26年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 95
ID 603201

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター									
指定管理者名	07004	株式会社オーエンス								
所管課	主	603200	生涯学習課	副						
構成施設	3323	少年科学センター								
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室									
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。									
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを旨とする。									
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務 									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス			指定回数	3 回
指定期間	平成24年4月1日	～	平成29年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

No. 95

		利用区分等	単位	H23	H24	H25	H26	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		幼児	人	29,531	32,485	30,805	31,452	102%	4
		小・中学生	人	29,692	29,075	28,939	29,943	103%	
		高校生	人	499	624	529	753	142%	
		一般	人	43,291	45,654	43,752	44,825	102%	
		計	人	103,013	107,838	104,025	106,973	103%	
								#DIV/0!	
		(特記事項) ①H23年度以降、4年連続10万人を超えた。②夏の科学フェスタ(8月17日開催)当日の入館者数が1,700人を超え、指定管理者制度を導入したH18年度以降で最高を記録した。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> センターの入館の受付等に関する業務 センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 特別イベント・プログラム ワークショップ 楽しい実験工作教室 サイエンスショー：毎週土曜、日曜開催 アウトリーチ事業 ミニミュージアムショップの設置 			<回数を増加した事業> ・楽しい実験工作教室 (H25:276回⇒H26:283回) ・乳幼児保護者向け教室(わらべ歌教室) (H25:5回⇒H26:12回)				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 楽しい実験工作教室、サイエンスショー、イベント等のお知らせチラシ23,500部を年4回発行し、市内各小学校等に配布 ホームページの定期的な更新、広報ながの、信毎週間ガイド、週刊長野、イベントバンク、子育て情報誌等にお知らせを随時掲載 テレビ、ラジオ、新聞の取材を積極的に受け、展示物や自主事業のPRを実施 							

3 利用者評価

No. 95

		区分	内容		評価	
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート			3
		(2) 調査、会議等の内容	・館内アンケートボックス、楽しい実験工作教室参加者向けのアンケート、特別企画の参加者向けアンケート、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・利用者満足度調査(外部モニタリング)を実施し、外部専門機関に調査分析を委託し実施 調査対象：来場者無作為に配布 回答者：348人 調査方法：施設での回収 調査期間：平成26年10月1日(水)～10月30日(木) 30日間			
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	・属性 男性：40.4%、女性59.6% 長野市在住：66.4%、長野市外在住：19.8%、長野県外：4.3%、無回答9.5% ・「教室・講座」「スタッフについて」「施設の総合的な満足度」の各項目においては、85%以上が「満足」「やや満足」と答える結果となったが、昨年同様、展示装置の不具合や内容の新鮮さについての要望も多く寄せられた。			
		(1) 良好とする評価	・低料金で子どもが楽しめるのでありがたい。 ・子どもが小さいので、いろいろ揃っていて安心して出かけられる。 ・9時からやっているのがありがたい。 ・サイエンスショーはおもしろいので、これからも充実させてもらいたい。			
		(2) 苦情・改善等の要望事項	・故障展示物の復旧・新規展示物の導入 展示装置の更新 ・飲食できる施設、スペースの確保 ・子どもにもわかりやすい展示物の解説			
		<<対応措置>>	・展示物など、修繕して対応できるものは随時、管理修繕を実施している。 ・新規展示物等のハード更新が難しいため、企画展やワークショップ等展示室内を活性化させるプログラムを多く開催している。 ・新規導入した展示物を案内することにより、施設の変化をアピールしている。 ・職員の手作りにより作製した展示物を導入している。			

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成26年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入		歳入		歳入		歳入		
	利用料金	9,800,000	利用料金	11,049,500	使用料	454,999	使用料	454,999	3
	指定管理料	31,772,000	指定管理料	31,772,000	雑（納付金）		雑（納付金）		
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	27,967	行政財産目的外使用料	27,190	
	販売収入等		販売収入等		その他		その他		
	その他収入		その他収入						
	計	41,572,000	計	42,821,500	計	482,966	計	482,189	
	人件費	23,760,000	人件費	21,979,726	指定管理料	31,772,000	指定管理料	32,700,000	
	設備管理費	6,591,500	設備管理費	6,107,777	委託料		委託料		
	備品購入費	133,500	備品購入費	169,678	需用費		需用費		
	修繕費	1,761,000	修繕費	1,109,778	役務費		役務費		
	光熱水費	6,189,000	光熱水費	7,668,220	使用料・賃借料	1,568,688	使用料・賃借料	1,566,780	
	事業費	2,452,000	事業費	2,572,906	修繕費		修繕費		
	事務経費	685,000	事務経費	564,375	工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他		その他		その他		その他		
	計	41,572,000	計	40,172,460	計	33,340,688	計	34,266,780	
	収入	2,565,450	収入	2,897,335					
	支出	2,468,590	支出	2,932,464					
	自主事業損益	96,860	自主事業損益	-35,129					
	損益	96,860		2,613,911	差引	-32,857,722		-33,784,591	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成25年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								54.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名（常勤）、館長補佐1名（常勤）、指導スタッフ4名（常勤3名、非常勤1名）、受付事務スタッフ3名（常勤2名、非常勤1名）、施設管理スタッフ1名（非常勤） 計10名（地元雇用：10名）		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。		3
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自主事業プログラムの開催 ・地元雇用の推進 ・地元事業者からの物品購入 ・アウトリーチ事業の推進 ・職場体験（地域活動学習）の受入 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 64	
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	3	6		

評価理由

「2 施設の有効活用」の「施設利用状況」を見ると、増加傾向にある幼児保護者向け事業の充実に努めた結果、対前年比、全体で102.8%と増加し、4年連続で10万人を維持していることから「施設の有効活用」は「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
①小中学生・高校生に来館してもらえようようなイベント開催や展示の工夫をする。 ②故障中や古い展示物を順次、修理・更新し、展示物の入れ替えに努める。	①H23年度から実験工作教室の開催回数を増やし、H26年度も回数を維持した。 ①H26年度、「可視光通信展示物」を改修し。入館者が最新科学を理解しやすい展示にした。	②展示物の入れ替えや修繕には費用がかかるため、学校、企業等へ展示物の貸し出しの協力依頼をして、老朽化した展示物の入れ替えを行う。

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

現在、幼児の入館者数が増加傾向にあることから、引き続き、幼児向けの科学等に関する事業の充実に努めるほか、学校・企業等との連携による展示物の更新や工作教室の開催に努め、利用者増に向けた魅力ある施設運営に取り組む。

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・大人向け講座も含め、幅広い年代に対応する各種教育普及プログラムを開催し、体験型事業を増やした。
(展示室内ワークショップの開催、実験工作教室の定期開催、企画イベントの開催、展示解説ツアーの実施等)
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、幼児向け教室プログラムを開催した。
- ・アウトリーチ事業(出前サイエンスショー・出前実験工作教室)を29回実施した。
- ・積極的な広報活動(チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ更新)により、施設の認知度向上に努めた。
- ・利用者満足度調査の実施によるニーズの把握と反映に努めた。
- ・休館日の削減(GW・夏・春期休業期間中の月曜及び1月1日~3日の年始開館)、閉館時間の延長(夏期休業期間中)を実施した。
- ・地域出身の講師による講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・当社指定管理施設である青少年錬成センターや関係団体、企業と連携しイベントを開催した。
- ・可視光通信展示物(新規)にちなんだ信州大学工学部教授による特別講座を開催した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ等の一部内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・製作、修繕、改修等を内部で行い、再委託を極力抑えた。

③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」の協賛による、ミュージアムショップの割引を実施。年々利用が増えている。
- ・地域活動学習(2校、計6名)の受入れを実施した。
- ・長野県が実施するエコプログラムに参加し、環境に配慮しつつ認知度やサービスの向上を図った。
- ・地域の清掃活動に参加し周辺環境の美化に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設設備・展示装置の老朽化に伴い、修繕箇所が年々増加傾向にあり、利用者からの更新要望も多い。

(3) 次年度以降の取組み

年間入館者数10万人を一つの目標とし、下記の取組みをはじめとした施設の求心性を高める事業展開に努める。

- ・「入館300万人記念イベント」の開催(H28年3月頃見込)
- ・各種企画事業による常設展示室の活性化
- ・ワークショップ、実験工作教室及び特別工作教室等の開催
- ・地域学校・企業との連携強化
- ・市内他施設との連携、協働事業の開催
- ・アウトリーチ事業
- ・ボランティアの育成

ね

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る